

第169回

中小企業景況調査報告書

〔 令和3年7月～9月期実績
令和3年10月～12月期予測 〕

令和3年9月
群馬県商工会連合会

中小企業景況調査要領

1. 調査の目的

この調査は、商工会地区内の小規模企業の経営動向とその特性を継続的に把握し、その分析結果により、商工会の経営改善普及事業が効果的に実施されることを目的としている。

なお、本報告書のD・I値とは、ディフュージョン・インデックス (Diffusion Index、景気動向指数) の略であり、増加 (上昇・好転・長期化) 企業割合から減少 (低下・悪化・短期化) 企業割合を差し引いた値を示すものである。

D・Iがプラス (+) なら……強気 (楽観)

D・Iがマイナス (-) なら……弱気 (悲観)

(例) 売上高で増加企業50%、不変企業30%、減少企業20%の場合、

D・I指数…… $50\% - 20\% = 30\%$

となり、全体としての経営者の売上に対する強気の度合いを表している。

2. 調査期間

今回は、令和3年9月1日 (水) を調査時点とし、期間は令和3年7月～9月期である。

3. 調査方法

調査対象企業への商工会経営指導員による聞き取り面談調査による。

4. 調査実施商工会別の調査対象企業数及び回収率

商工会名 (商工会管区人口:人)	調査対象企業	製造業	建設業	小売業	サービス業
吉岡町 (21,963)	15	3	2	5	5
みどり市※大間々・東地区 (19,929)	15	3	2	4	6
群馬伊勢崎 (80,356)	15	3	2	4	6
桐生市黒保根 (1,679)	15	3	3	4	5
高崎市群馬 (43,495)	15	1	4	2	8
高崎市吉井 (23,619)	15	3	2	5	5
藤岡市鬼石 (2,183)	15	4	3	4	4
長野原町 (5,025)	15	2	3	4	6
みなかみ町 (17,012)	15	2	2	5	6
千代田町 (10,782)	15	3	2	4	6
合計 (構成比%)	150 (100%)	27 (18.1%)	25 (16.1%)	41 (27.5%)	57 (38.3%)
回答企業数	150	27	25	41	57
回収率 (%)	100%	100%	100%	100%	100%

※人口については、各市町村ホームページ等を参照

・令和3年8月末日現在の人口となります。

5. 業種別構成

(1) 製造業

業 種 内 訳	企業数	構成比%
食料品	2	7.4
飲料・飼料・たばこ	1	3.7
繊維工業	0	0.0
衣類・その他繊維製品	2	7.4
木材・木製品	1	3.7
家具・装備品	1	3.7
パルプ・紙・紙工業	0	0.0
印刷・同関連業	1	3.7
化学工業	0	0.0
プラスチック製品	2	7.4
窯業・土石製品	0	0.0
金属製品	5	18.5
一般機械器具	4	14.8
電気機械器具	4	14.8
輸送用機械器具	4	14.8
精密機械器具	0	0.0
その他	0	0.0
合 計	27	100.0

(2) 建設業

業 種 内 訳	企業数	構成比%
総合工事業	10	40.0
職別工事業	9	37.5
設備工事業	6	25.0
合 計	25	100.0

(3) 小売業

業 種 内 訳	企業数	構成比%
各種商品	3	7.3
織物・衣服・身の回り品	4	9.8
飲食料品	16	39.0
自動車・自転車	1	2.4
家具・建具・じゅう器	4	9.8
その他小売業	13	31.7
合 計	41	100.0

(4) サービス業

業 種 内 訳	企業数	構成比%
一般飲食店	22	38.6
宿泊業	4	7.0
運送業	3	5.3
自動車整備業	7	12.3
洗濯・理容・美容業	9	15.8
その他の生活関連サービス業	12	21.1
合 計	57	100.0

1. 群馬県全産業の景況概況

今期（令和3年7月～9月期）の各産業売上高（完成工事高）D I 値に見る業況判断は、製造業：3.7→14.8、建設業：▲16.7→0.0、小売業：▲37.5→▲46.2、サービス業：▲12.5→▲32.1となった。製造業と建設業はやや上昇、小売業はやや低下、サービス業は大幅な低下となった。

また、業種別の景況判断では、製造業は「晴」となっており、小売業、サービス業は「雨」、建設業は「薄曇り」という判断であり、製造業だけ良い結果となった。

来期（令和3年10月～12月期）予想では、製造業：37.1→▲3.7、建設業：8.0→▲44.0、小売業：▲41.4→▲36.5、サービス業：▲33.3→▲24.6であり、小売業とサービス業のみ上昇の見込みであるが、製造業と建設業においては先行きは厳しい状況である。

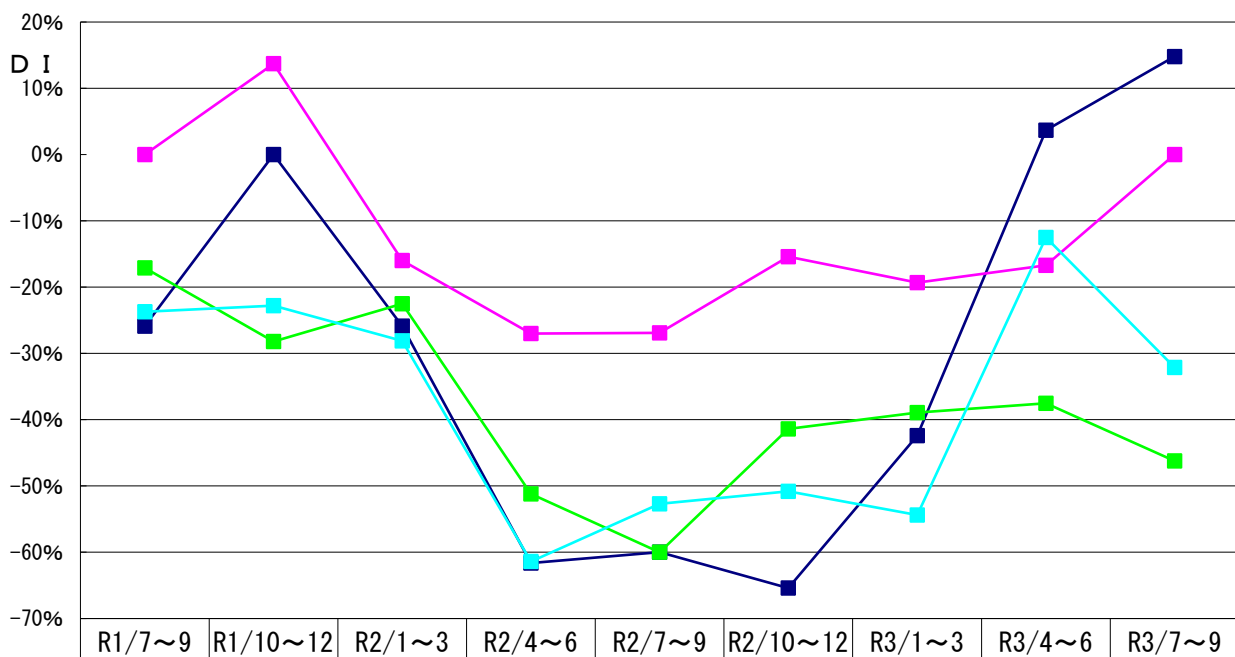
凡例

D I 値	100.0 ～ 30.1	30.0 ～ 10.1	10.0 ～ ▲10.0	▲10.1 ～ ▲30.0	▲30.1 ～ ▲60.0	▲60.1 ～ ▲100.0
表 示						
内 容	快晴	晴	薄曇	曇	雨	大雨

売上高（完成工事高）にみる各産業D I 値（前年同期比）の推移

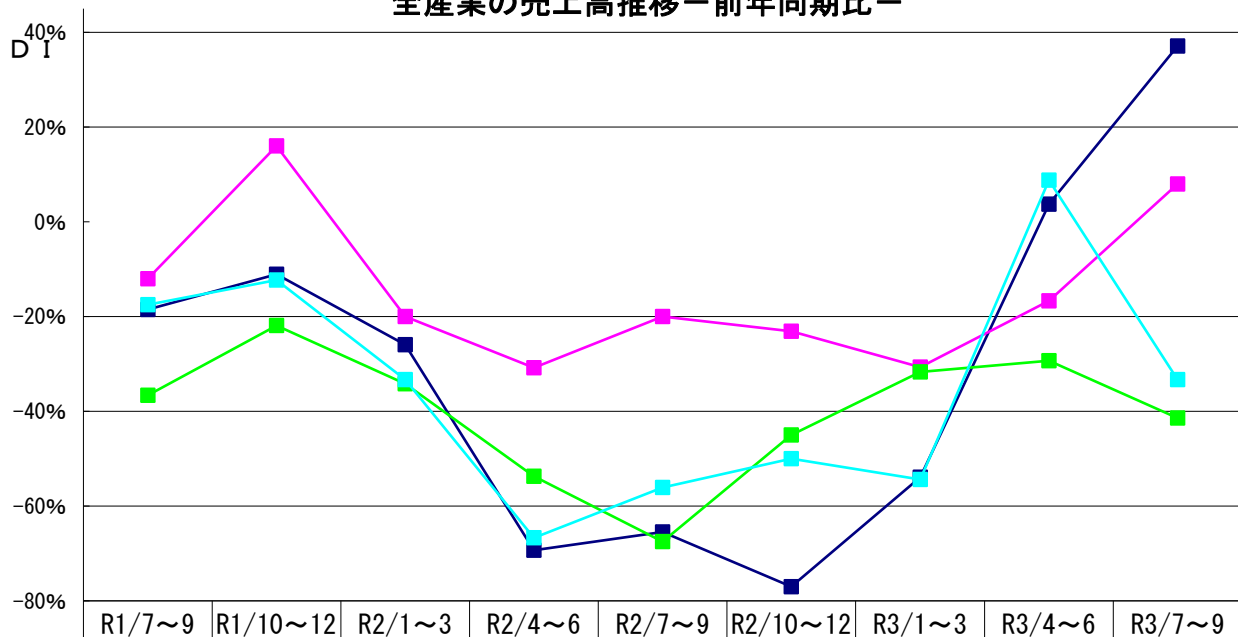
年月 業種	平成31年度～令和元年度			令和2年度			令和3年度			
	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月 見込
製造業										
建設業										
小売業										
サービス業										

全産業の業況（自社）推移—前年同期比—



■ 製造業	-25.9	0.0	-25.9	-61.6	-60.0	-65.4	-42.4	3.7	14.8
■ 建設業	0.0	13.7	-16.0	-27.0	-26.9	-15.4	-19.3	-16.7	0.0
■ 小売業	-17.1	-28.2	-22.5	-51.2	-60.0	-41.4	-38.9	-37.5	-46.2
■ サービス業	-23.7	-22.8	-28.1	-61.4	-52.7	-50.8	-54.4	-12.5	-32.1

全産業の売上高推移—前年同期比—



■ 製造業	-18.5	-11.1	-25.9	-69.3	-65.5	-77.0	-53.9	3.7	37.1
■ 建設業	-12.0	16.0	-20.0	-30.8	-20.0	-23.1	-30.7	-16.7	8.0
■ 小売業	-36.6	-21.9	-34.2	-53.7	-67.5	-45.0	-31.7	-29.3	-41.4
■ サービス業	-17.5	-12.3	-33.3	-66.7	-56.1	-50.0	-54.4	8.8	-33.3